

御前崎港の輸出動向

1. 御前崎港の概要

御前崎港がある御前崎市は遠州地域の西部に位置し、平成16年に当時の浜岡町と御前崎町が合併し発足した。御前崎(岬)で遠州灘と駿河湾に分かれており、御前崎港は駿河湾側にある。

御前崎港の令和2年度の輸出入総額は、3,153億円。うち輸出が2,980億円と94.5%を占め、輸出が中心の港となっている。名古屋税関管内に占める御前崎港の割合は、輸出入総額で1.3%、輸出額で1.8%となっている。

静岡県御前崎港管理事務所のホームページによると、水深マイナス14メートルの耐震岸壁を有する国際コンテナターミナルのほか、自動車運搬船やRORO船が接岸可能な水深マイナス12メートル岸壁などが整備されている。岸壁背後の荷さばき地や野積場も大量の貨物の取扱いが可能となっている。

(図表1) 御前崎港の概要 単位:100万円

	輸出入総額	輸出額	輸入額
御前崎港	315,371	298,067	17,304
名古屋税関管内	24,186,153	16,160,881	8,025,272
御前崎港構成比	1.3%	1.8%	0.2%

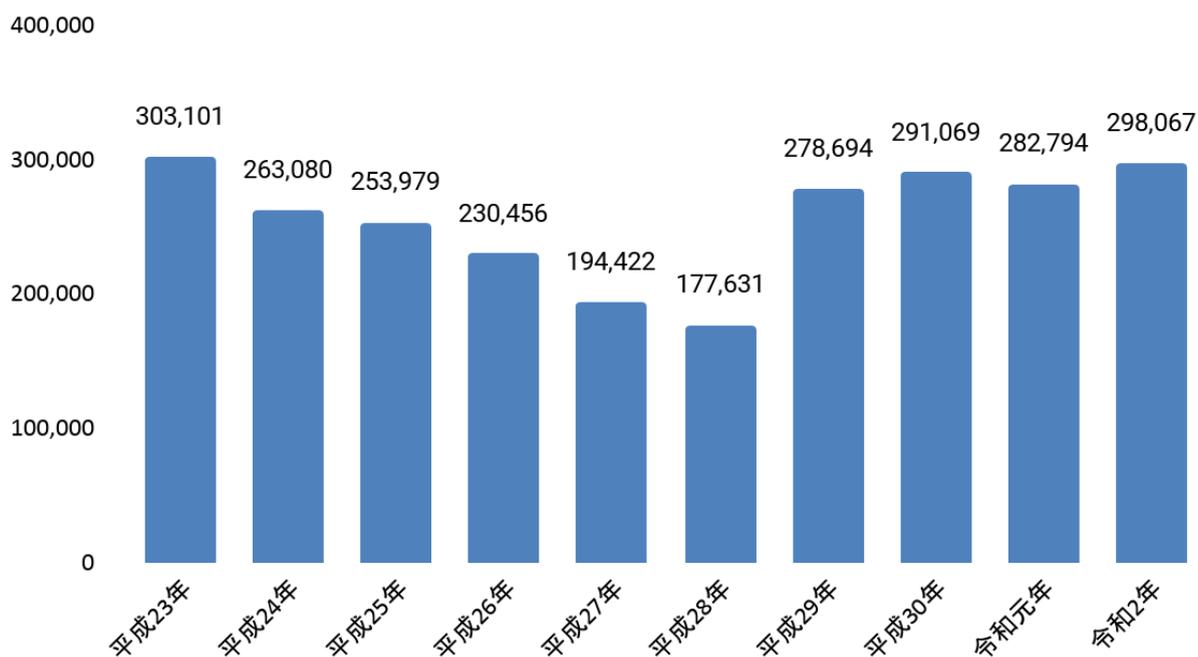
出所:名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成

2. 御前崎港輸出額の推移

御前崎港の輸出額の推移をみると、平成28年まで右肩下がりで減少していたが、平成29年には完成自動車の輸出増加等の要因により増加に転じ、以降3000億円弱の水準で推移している(図表2)。

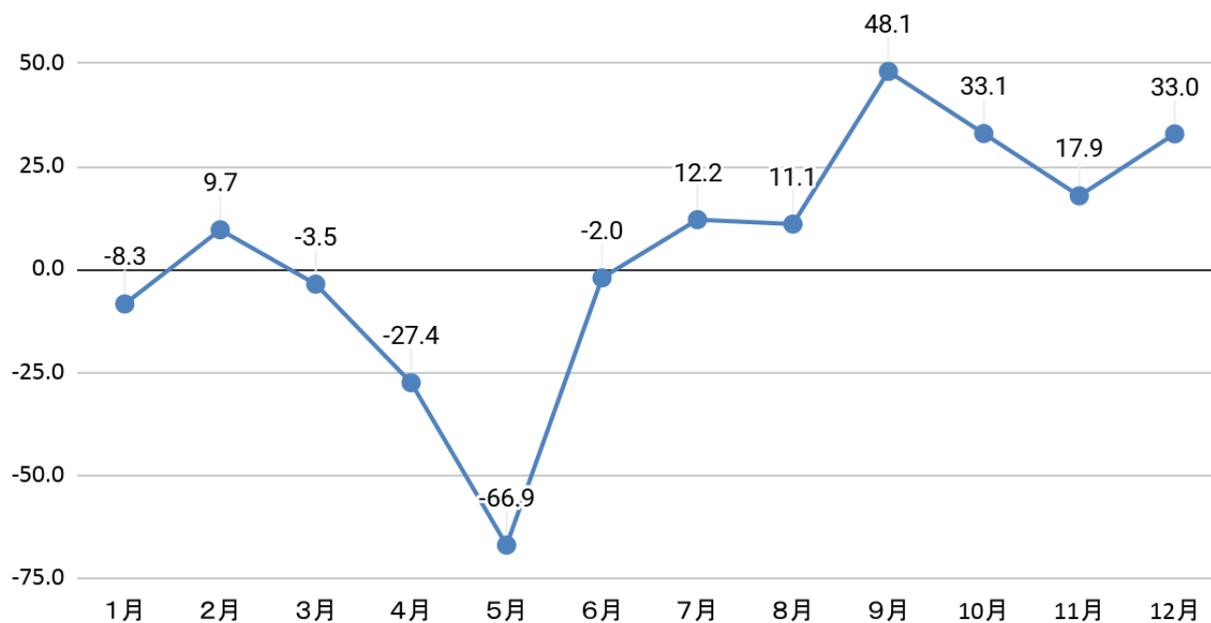
令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済活動が停滞した時期もあったが、前年比5.4%の増加となった。月毎の対前年比増減率をみると(図表3)、3月まではプラスマイナス10%のレンジで推移していた。しかし、4~5月にかけて、当地及び仕向地での経済活動の低下により、4月-27.4%、5月-66.9%と大幅に前年水準を割り込んだ。その後、輸出は急回復、6月は前年比微減となったが、7月以降は前年比10%以上の増加が続き、特に9月は前年比48.1%の大幅な増加となった。

(図表2) 御前崎港輸出額の推移



出所: 名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成

(図表3) 令和2年の対前年比月別輸出額(%)



出所: 名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成

3. 概況品別の輸出金額

御前崎港の輸出金額を概況品別にみている。まず、概況品コード1桁(0~9)の大きな分類で見ると、機械類及び輸送用機器が2,244億円と全体の75.3%を占めている。機械類及び輸送用機器を3桁のコードで分類すると、一般機械と電気機器はいずれも100億円程度で、輸送用機器が2,024億円となっている。輸送用機器をさらに細分化すると、自動車(完成車)が1,572億円と全体の52.8%を占め、自動車の部分品(自動車部品)が366億円、二輪自動車類が85億円となっている。

(図表4)御前崎港概況品別輸出金額(単位千円)

概況品 (概況品コード)	金額	構成比
総 額	298,067,421	100.0
食料品及び動物 (0)	900	0.0
飲料及びたばこ (1)	—	—
原材料 (2)	112,527	0.0
鉱物性燃料 (3)	60,054	0.0
動植物性油脂 (4)	—	—
化学製品 (5)	31,923,525	10.7
原料別製品 (6)	8,800,705	3.0
機械類及び輸送用機器 (7)	224,456,273	75.3
一般機械 (701)	11,280,436	3.8
電気機器 (703)	10,722,834	3.6
輸送用機器 (705)	202,453,003	67.9
自動車 (70503)	157,254,153	52.8
自動車の部分品 (70505)	36,694,588	12.3
二輪自動車類 (70507)	8,500,915	2.9
雑製品 (8)	25,655,768	8.6
特殊取扱品 (9)	7,057,669	2.4

出所:名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成

4. 地域別の輸出金額

御前崎港の輸出金額を地域別にみると、西欧が1,680億円で最も多く、全体の56.4%を占めている。次いで多いのがアジアの716億円(24.0%)で、西欧、アジアを合わせると全体の80.4%を占める。名古屋税関管内の輸出金額は、アジア、北米、西欧の順に多いが、御前崎港の場合、西欧が最も多く、北米の割合は3.4%にとどまっているという特徴がある。また、御前崎港は、中東欧・ロシア等の割合が12.2%と名古屋税関管内の3.9%と比較して高いことも特徴といえる。

国別にみると、イタリアが336億円で最も多い。次いで、ドイツ(296億円)、ベルギー(291億円)、ハンガリー(287億円)、オランダ(272億円)の順に多く、欧州地域が上位を占めた。上位10カ国以内にインド、パキスタンといった南アジアの国が2カ国入っており、アメリカ、中国はそれぞれ10位、11位で2カ国合わせても構成比は5.5%にとどまっている。

(図表4)御前崎港地域別輸出金額(単位千円)

地域	金額	構成比 (御前崎)	構成比 (名古屋管内)
総額	298,067,421	100.0	100.0
アジア	71,668,106	24.0	40.0
中東	5,383,611	1.8	5.4
西欧	168,084,669	56.4	14.0
中東欧・ロシア等	36,450,621	12.2	3.9
北米	10,256,623	3.4	28.0
中南米	980,495	0.3	4.1
アフリカ	2,093,933	0.7	1.1
大洋州	3,149,363	1.1	3.5

出所:名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成

(図表5)御前崎港国別輸出金額(単位千円)

順位		金額	構成比
1	イタリア	33,694,694	11.3
2	ドイツ	29,686,410	10.0
3	ベルギー	29,169,738	9.8
4	ハンガリー	28,756,930	9.6
5	オランダ	27,267,865	9.1
6	インド	23,861,407	8.0
7	インドネシア	19,039,907	6.4
8	英国	17,707,025	5.9
9	パキスタン	9,328,601	3.1
10	アメリカ合衆国	9,280,338	3.1
11	中華人民共和国	7,005,666	2.4

出所:名古屋税関清水税関支署「清水税関支署管内(静岡県)貿易概況(速報)」を元に作成